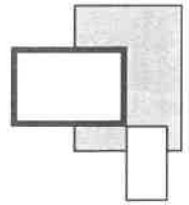




Matsuyama
Business
College

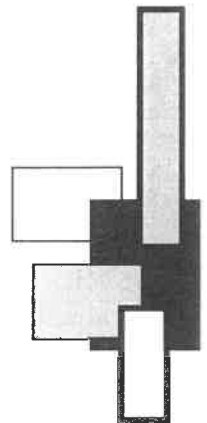
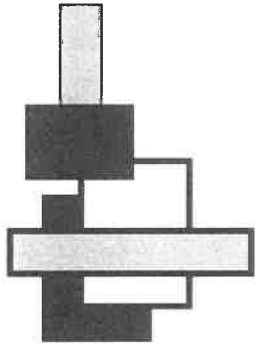


松山デザイナー専門学校

ファッションビジネス学科

2025 年度

シラバス



スタイリストコース 2年

名前

※一年間、各自保管すること

令和7年度

服飾家政専門課程 ファッションビジネス学科 スタイリストコース

必修 ／ 選択	区分	科目名	種別	担当者	スタイリストコース 2年		
					前期	後期	単位
必修	学科 共通	ファッション販売実技Ⅰ	実習	稲美	30		1
		英会話Ⅰ	講義	宇野	30		2
		ファッションプロデュースⅠ	実習	木村	60		2
		ショップマスターⅢ	講義	竹松	30		2
		ファッションビジネスⅢ	講義	竹松	30		2
		アイテム制作実習Ⅰ	実習	木村	60		2
		ファッション販売実技Ⅱ	実習	稲美		30	1
		英会話Ⅱ	講義	宇野		30	2
		ファッションプロデュースⅡ	実習	木村		60	2
		ショップマスターⅣ	講義	竹松		30	2
		アイテム制作実習Ⅱ	実習	木村		90	3
		研修	実習	教員		30	1
	コース	ヘアメイク実技・理論Ⅲ	実習	高岡	60		2
		ネイル実技・理論Ⅲ	実習	水本	30		1
		スタイリング実習Ⅲ	実習	木村	60		2
		ヘアメイク実技・理論Ⅳ	実習	高岡		30	1
		スタイリング実習Ⅳ	実習	木村		60	2
		卒業研究	実習	木村		60	2
					390	420	32
必修科目 合計					810		
年間合計時間/単位数					810 32		

1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。

授業科目	ファッション販売実技Ⅰ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	稲美 妙乃	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年
授業科目の テーマと目的	コミュニケーション力と判断力を学ぶ				
学習到達 目標	現場で通用する知識・技術を習得する				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリスト・Shopオーナーとして経験のある講師が、その経験を活かしコーディネート技術や接客やプレゼン法を指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	概論	これからの心構えと抱負			
2	ラッピング	ラッピングの必要性和実践			
3	値札制作	ブランドイメージにあう値札作り			
4	ショップ袋制作	ブランドイメージにあうショップ袋デザイン、その効果			
5		デザイン			
6		制作			
7	美術、芸術鑑賞	美術館鑑賞、美術館での所作、注意点、レポート作成			
8					
9					
10	スチームアイロン	洋服の扱い方を振り返って実践			
11	接客ロープレ	接客の必要性(応用編)、アプローチ法			
12		レポート作成			
13	現場見学	計画書作成			
14		実践(グランフジ)、レポート作成			
15	まとめ	まとめ			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考	各自ノート、ファイルを準備する				

授業科目	英会話 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	宇野 恵美子			時間割	木曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	海外からのお客様や、日本在住の外国人のお客様に英語で接客するために、販売員として必要な基本的な英会話を修得する						
学習到達 目標	英語での店内案内や基本的な商品説明、挨拶や日常会話を円滑に進めるための表現を学ぶ。また、緊急時やトラブルに対応するフレーズを学ぶ						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	レベルチェック、自己紹介		英語レベルの確認と、挨拶・自己紹介・日常会話など気軽な会話を楽しむ				
2	役立つフレーズ		聞き取れない・わからないときや、謝罪のときに使えるフレーズを学ぶ				
3	役立つ表現		相槌や感謝など、お客様に対する細やかな表現を学ぶ				
4	雑談の会話		お客様との距離を縮めるための話題に関する表現を学ぶ				
5	接客①		お客様を迎える際の表現と、営業時間や店内の案内に関する表現を学ぶ				
6	接客②		電話対応に必要な表現を学ぶ				
7	接客③		お客様を見送る際の表現を学ぶ				
8	接客④		お客様の購買意欲をそそる表現と、在庫切れの際の対応を学ぶ				
9	接客⑤		値段交渉と包装に関する表現を学ぶ				
10	接客①～⑤		接客①～⑤の復習とアウトプット・ロールプレイング練習				
11	接客⑥		返品や交換の際に役立つ表現を学ぶ				
12	接客⑦		デザインやサイズ、素材や色などの好みを聞く際と、お手入れの方法を説明する表現を学ぶ				
13	接客⑧		試着に関する表現と、試着後のほめ方のフレーズを学ぶ				
14	緊急時対応		急病人対応と、地震や火災時の緊急対応の表現を学ぶ				
15	前期終了テスト		前期内容について確認				
使用テキスト 教材・教具	『すぐに使える接客英会話 大特訓』Jリサーチ出版(ISBN: 9784863922037)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト50%、修了テスト50%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	ロールプレイングに積極的に参加すること						

授業科目	ファッションプロデュース I			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	木村 蘭			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	ルックブックの企画から衣装集め、撮影、ポスター告知までの流れを学ぶ						
学習到達 目標	ルックブック・ポスター制作する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 販売の経験がある講師が、その経験を活かしコーディネート技術を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	概論	ルックブックからポスター告知までの流れ					
3～6	ルックブック	ページ編成					
7～8		撮影準備(衣装・小物集め)					
9～14		撮影					
15～19		写真編集(コラージュ・切り抜き)、プレゼン準備					
20～21		プレゼン、ポスターチーム分け					
22～23	ポスター	ポスター構成決める					
24～27		制作・プレゼン					
28～29		ディスプレイ(投票用)					
30		まとめ					
使用テキスト 教材・教具	ルックブック印刷代						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、作品70%で評価する						
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合がある			検定試験の 概要			
備考	各自ノートを持参する						

授業科目	ショップマスターⅢ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	竹松 容子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	VMD計画を行い魅力的な売り場を作る						
学習到達 目標	VMD計画を行い魅力的な売り場を作る事が出来る						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ、店長の経験を活かし、学生に指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	市場の変化とVMD		VMD戦略とは				
2	店舗コンセプトとVMD		売場機能と訴求ポイント				
3	〃		売場の什器計画				
4	VMD計画		販売促進計画と売場展開				
5	〃		POPの役割と種類 ユニバーサルデザイン事例				
6～7	商品陳列について		三角構成 PP・IPの商品陳列				
8～9	〃		VPとPPで展開する演出方法 色彩と照明				
10	商品分類と売場構成		商品分類と陳列(レディース メンズ)				
11～12	売場の再編集		陳列の再編集技術				
13～14	業態別VMD特徴		VMDのオペレーション説明 VMD計画書作成				
15	まとめ		VMD計画書作成 まとめ				
使用テキスト 教材・教具	『ファッション販売能力検定2級公式テキスト』一般財団法人 日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	ノート20% 課題80%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッションビジネスⅢ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	竹松 容子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	ファッションビジネス能力検定2級テキストを進めながらファッション業界の基礎知識を習得する						
学習到達 目標	ファッションビジネス能力検定2級合格						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ、店長の経験を活かし、学生に指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	2級テキスト 造形1章		テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
2	2級テキスト 造形2章		テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
3	2級テキスト 造形3章		テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
4	2級テキスト 造形4章		テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
5	2級テキスト 造形5章		テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
6	2級テキスト 造形6章		テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
7	検定直前対策①		過去に解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う				
8	検定直前対策②		過去に解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う				
9	検定直前対策③		過去に解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う				
10	検定直前対策④		過去に解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う				
11	検定直前対策⑤		過去に解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う				
12	検定直前対策⑥		過去に解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う				
13	検定直前対策⑦		過去に解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う				
14	検定直前対策⑧		過去に解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う				
15	検定直前対策⑧		過去に解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う ※修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	『ファッションビジネス2級新版』日本ファッション教育振興協会 『FB能力検定試験2級項目別試験問題・解答集』日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、修了テスト70%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッションビジネス能力検定2級 2025年7月5日(土)		
備考							

授業科目	アイテム制作実習Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	木村 蘭			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	アパレルアイテムの制作・コーディネート法を学ぶ						
学習到達 目標	現場で通用するアイテムのリメイク法を習得する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	染め	洋服染め、染料について					
3～8		洋服や小物を染める					
9～10	リメイク	リメイク法、刺繍					
10～14		染めたアイテムをリメイクする					
15	アイテム制作	スタイリングショー(学園祭)プレゼン					
16～30		スタイリングショー(学園祭)制作					
使用テキスト 教材・教具	洋裁道具、染料道具、刺繍道具						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	ノート20%、課題20%、作品60%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	制作に関わる服・生地・糸・副資材は自己負担 各自ノートを準備する						

授業科目	ファッション販売実技Ⅱ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	稲美 妙乃		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年	
授業科目の テーマと目的	コミュニケーション力と判断力を学ぶ					
学習到達 目標	現場で通用する知識・技術を習得する					
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリスト・Shopオーナーとして経験のある講師が、その経験を活かしコーディネート技術や接客やプレゼン法を指導する				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	接客ロープレ		新教室でのロープレ			
2						
3	ディスプレイ実習		新教室でのレイアウトディスプレイ			
4			レポート作成			
5	モデルPR法		テーマ決め、準備			
6			撮影			
7	接客ロープレ		試着の意味、声かけのタイミング			
8			フィッティング案内			
9	現場見学		計画書作成			
10			実践(エミフル松前)、レポート作成			
11	販売実技		不得意分野の接客克服法 コーディネートから試着の案内法			
12						
13			就職前の最終接客ロープレ			
14			実技テスト			
15	まとめ		まとめ			
使用テキスト 教材・教具						
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	作品50%、実技テスト50%で評価する					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考	各自ノート、ファイルを準備する					

授業科目	英会話Ⅱ			時間数 (コマ数)	30. (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	宇野 恵美子			時間割	木曜 3限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	海外からのお客様や、日本在住の外国人のお客様に英語で接客するために、販売員として必要な基本的な英会話を習得する						
学習到達 目標	英語での店内案内や基本的な商品説明、挨拶や日常会話を円滑に進めるための表現と、緊急時やトラブルに対応するフレーズを身に付ける						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	前期の復習	前期で学んだ語彙やフレーズを復習する					
2	店内で使う基本表現①	接客で用いる基本的な語彙とフレーズを学ぶ					
3	店内で使う基本表現②	店内で使用するモノや場所の語彙を学ぶ					
4	店内で使う基本表現③	店内で使用するモノや場所の語彙と、想定される店内応対に関する表現を学ぶ					
5	接客①	お迎え入れ→アプローチ→商品選択までの流れについての表現を身に付ける					
6	接客②	商品を選択する際に必要な表現と在庫確認について説明する際の表現を身に付ける					
7	接客③	欠品と取り寄せについての説明と、他の商品をお勧めする際の表現を身に付ける					
8	接客④	試着対応と褒め言葉、寸法直しについての表現を身に付ける					
9	接客⑤	クロージング→会計の流れと、その応対についての表現を身に付ける					
10	接客⑥	お見送りの際の声掛けについてのフレーズを身に付ける。数字の表現について学ぶ					
11	接客①～⑥ アウトプット(1)	一通りの流れをシュミレーション練習し、定着させる					
12	接客①～⑥ アウトプット(2)	更に応用できるよう、アクトアウト練習を行う					
13	緊急時対応	急病人対応と、地震や火災時の緊急対応の表現を身に付ける					
14	レッスン1～13総復習	レッスン1～13の復習とアウトプット					
15	後期終了テスト	後期内容について確認					
使用テキスト 教材・教具	『すぐに使える接客英会話 大特訓』Jリサーチ出版(ISBN:9784863922037)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト50%、修了テスト50%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	ロールプレイングに積極的に参加すること						

授業科目	ファッションプロデュースⅡ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	木村 蘭			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	役者の人柄、深層心理を紐解きスタイリングする						
学習到達 目標	映画のポスターを制作する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無		【実務経験内容】 販売の経験がある講師が、その経験を活かしコーディネート技術を指導する				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	概論		役者の深層心理と衣装				
2～6	研究、プレゼン		映画の衣装をスタイリングし、プレゼン				
7	衣装提案書		衣装提案書の作成方法				
8～9			衣装提案書の作成				
10	衣装集め		衣装の集め方				
11～14	広告制作		ペアを組んで与えられたテーマをもとに、衣装提案書作成から衣装決め				
15～23			撮影、編集				
24～27			ポスター制作				
28～30			プレゼン				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、作品70%で評価する						
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合がある			検定試験の 概要			
備考	各自ノートを持参する						

授業科目	ショップマスターⅣ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	竹松 容子	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年
授業科目の テーマと目的	具体的な店舗運営の際に必要な内容を項目ごとに学ぶ				
学習到達 目標	店舗運営管理が出来るスキルを身につける				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ、店長の経験を活かし、学生に指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	実店舗の意味合い	実際の実店舗の現状			
3～4	〃	VMDで伝えたい事			
5～6	〃	実店舗リサーチ(外観印象・店内アプローチ)			
7	〃	リサーチ結果からVMDを含めた店内のレイアウトイメージを作成			
8～9	プレゼンテーション①	店舗イメージを発表			
10	〃	店舗の予算と個人予算について			
11	店舗の人事管理	スケジュール管理 人事管理関の関連法規			
12	〃	人材育成 コンプライアンス			
13～14	プレゼンテーション②	VMD計画書作成 (前期よりも精度を上げる)			
15	〃	プレゼンテーション 総評			
使用テキスト 教材・教具	『ファッション販売能力検定2級公式テキスト』一般財団法人 日本ファッション教育振興協会				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	プレゼンテーション2回60% VMD計画書作成40%で評価する				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	アイテム制作実習Ⅱ			時間数 (コマ数)	90 (45)	単位数	3
担当教員 (資格等)	木村 蘭			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	アパレルアイテムの制作・コーディネート法を学ぶ						
学習到達 目標	現場で通用するアイテムのリメイク法を習得する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	アイテム制作		スタイリングショー(松山コレクション)プレゼン				
3～28			スタイリングショー(松山コレクション)制作				
29～30			完成プレゼン資料・まとめ				
使用テキスト 教材・教具	洋裁道具、染料道具、刺繍道具						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題20%、作品80%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	制作に関わる服・生地・糸・副資材は自己負担 各自ノートを準備する。						

授業科目	研修			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	教員			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年 ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	トレンド発信の早い韓国で、韓国ファッションの勉強、及び、ファッションショー作品に使用する生地 や副資材の購入を行う						
学習到達 目標	イメージを具体化する、かつ数値の予定と併せた仕入れ業務を行う						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	事前準備		韓国トレンド、市場について				
3～14	研修		韓国資材購入				
15	研修まとめ		レポート				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	レポート100%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅲ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	高岡 笑子			時間割	火曜3・4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年		
授業科目の テーマと目的	基礎を復習しながら、自分らしい作品が作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする						
学習到達 目標	衣装とトータルでヘアメイクの作品を創り上げる						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その 経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～10	撮影用ヘアメイク	6月撮影用作品 デザイン画作成・相モデルで練習					
11～20	ラグゼビューティー作品作り	フォトコンテストに向けて、デザイン画作成・衣装選び・ヘアメイク練習 撮影					
21～25	学園祭ヘアメイク	学園祭に向けて、デザイン画作成・ヘアメイク練習 1年生との合同練習・指導					
26～30	ヘア・メイク	テーマを決めて、ヘア・メイク作品作り					
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%の比率で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ネイル実技・理論Ⅲ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	水本 信子 (Nail&Aroma リヤド)		時間割	月曜 1,2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年	
授業科目の テーマと目的	日本ネイリスト協会本部認定講師のネイリストがオーナーを務める『Nail&Aroma リヤド』と連携し、今までに学んだネイル技術に加えアクリルネイルの技術を学びアート作品の作製					
学習到達 目標	ジェルネイル、アクリルネイルのエンボス、3Dを使ったアート作品の作製					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ネイルサロンでの施術・接客、ネイル検定試験の試験官経験のある講師が、その経験を活かし、ネイルの知識や技術、検定試験対策などを指導する				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	アクリルネイル理論		アクリルネイルの理論			
2	3Dアート		アクリルネイルを使った立体的なアートの基本			
3	エンボスアート		アクリルネイルを使ったエンボスアートの基本			
4	3Dアート、エンボスアート		作品作製			
5	3Dアート、エンボスアート		作品作製			
6	3Dアート、エンボスアート		作品作製			
7	3Dアート、エンボスアート		作品作製			
8	3Dアート、エンボスアート		作品作製			
9	3Dアート、エンボスアート		作品作製			
10	3Dアート、エンボスアート		作品作製			
11	3Dアート、エンボスアート		作品作製			
12	3Dアート、エンボスアート		作品作製			
13	3Dアート、エンボスアート		作品作製			
14	3Dアート、エンボスアート		作品作製			
15	3Dアート、エンボスアート		作品作製			
使用テキスト 教材・教具	アクリルネイル用具溶剤					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	アート作品100%で評価する					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考						

授業科目	スタイリング実習Ⅲ	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	木村 蘭	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年
授業科目の テーマと目的	体型カバーコーディネート、デザイナーへのプレゼン法を学ぶ				
学習到達 目標	現場で通用する技術と知識を身につける				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 販売の経験がある講師が、その経験を活かしコーディネート技術を指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～3	骨格	骨格について・3つの骨格タイプ別のコーディネート法			
4～5		実践			
6～7		小物コーディネート			
8		まとめ			
9～14	デザイナーへのプレゼン	学園祭Fショー小物コーディネート			
15～16	学園祭スタイリングショー	テーマ決め、資料作り			
17～30		制作			
使用テキスト 教材・教具	『骨格診断書×パーソナルカラー 本当に似合うBestアイテム事典』二神弓子/西東社 (ISBN: 9784791627028)				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題30%、作品70%で評価する				
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります		検定試験の 概要		
備考	制作に関わる服、生地、糸、副資材は自己負担 各自ノートを準備する				

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅳ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	高岡 笑子			時間割	火曜3・4限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年		
授業科目の テーマと目的	基礎を復習しながら、自分らしい作品が作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする						
学習到達 目標	衣装とトータルでヘアメイクの作品を創り上げる						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その 経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～10	ヘア・メイク		学校の衣装などを使用し、テーマに合わせてヘアメイク作品を作る 相モデルで作品を作り、レポート提出をする				
11～15	ヘア・メイク		2年間の復習				
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%の比率で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	スタイリング実習Ⅳ		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	木村 蘭		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年	
授業科目の テーマと目的	スタイリストアシスタントとして、現場で必要な知識や情報、また即戦力となる技術を学ぶ					
学習到達 目標	現場で通用する技術と知識を身につける					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 販売の経験がある講師が、その経験を活かしコーディネート技術を指導する				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	韓国研修		研修振り返り			
3～4			プレゼン			
5～6	作品作り		テーマ・担当決め			
7～10			衣装・小物集め、ヘア・メイク提案			
11～12			撮影場所決め			
13～14			プレゼンテーションにてディスカッション			
15～26			撮影			
27～30			編集、ディスプレイ			
使用テキスト 教材・教具						
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題20%、チームワーク20%、作品60%で評価する					
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合がある			検定試験の 概要		
備考	制作に関わる服、生地、糸、副資材は自己負担					

授業科目	卒業研究			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	木村 蘭			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年		
授業科目の テーマと目的	これまでの学生生活の集大成となる作品を創る						
学習到達 目標	松山コレクションで披露する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	スタイリングショー		テーマ決め				
3～5			スタイリング案、ヘア・メイク決める				
6～7			構成決め				
8～11			衣装集め制作				
12～15	デザイナーへのプレゼン		松コレFショー小物コーディネート、提案書制作				
16～28	スタイリングショー		制作				
29～30			まとめ				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、作品70%で評価する						
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合がある			検定試験の 概要			
備考	制作に関わる服、生地、糸、副資材は自己負担						